

食道癌、胃癌患者におけるサルコペニアと予後に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2009年1月から2019年11月の間に当院において根治的手術を受けられた食道癌、胃癌の方

2. 研究目的・方法

年齢と関連する筋肉量の低下はサルコペニアと提唱され、サルコペニアと臨床学的因子の関連に関して様々な領域で研究が進んでおります。癌患者においては全身性炎症反応、インスリン抵抗性、タンパク質異化亢進、代謝性変化などが生じることが知られ、二次性サルコペニア合併のリスクが上昇するとされています。また、癌根治手術患者におけるサルコペニアの合併は術後の日常生活動作の低下や、術後在院日数、術後合併症などの術後短期成績のみならず、癌の長期予後との関連も指摘されています。本検討では、当科における食道癌、胃癌術後患者について後方視的にCTでの骨格筋量を測定してサルコペニアを選別し、サルコペニアと術後短期、長期予後の関連について検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、イニシャル、病歴、CT画像 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：防衛医科大学校 外科学講座 助教 矢口義久（研究責任者）

住 所：埼玉県所沢市並木 3-2

電 話：04-2995-1216